

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願2001-390467
起案日	平成16年 4月 5日
特許庁審査官	樫本 英吾 9609 2X00
特許出願人代理人	工藤 実 様
適用条文	第29条第2項、第36条、第37条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願は、下記の点で特許法第37条に規定する要件を満たしていない。

記

○請求項2-29に係る発明は、請求項1に係る発明に対して、特許法第37条各号に規定する関係を満たしていない。

請求項1に係る発明は、本願の出願前公知の技術であるから（例えば下記の引用文献1参照）、解決しようとする新規の課題はなく、また構成に欠くことのできない事項の主要部も存在しない。

この出願は特許法第37条の規定に違反しているので、請求項1-5以外の請求項に係る発明については新規性、進歩性等の要件についての審査を行っていない。

2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

○請求項1-5／引用文献1

・引用文献1：特に公報の特許請求の範囲参照。

・請求項 4, 5に係る発明で付加された構成は、当業者が適宜なし得る設計事項に過ぎない。

3. この出願は、明細書及び図面の記載が下記の点で、特許法第 36 条第 4 項及び第 6 項第 2 号に規定する要件を満たしていない。

記

・請求項 6に係る発明は、いかなるミラーがいかなる能動態に接しているのか不明であり、また、いかなる変位力を与えるのか不明であるために、発明の内容が不明瞭である。

・請求項 7, 8, 21に係る発明のうち一部についてしか実施の方法が記載されておらず、請求項 7, 8に係る発明のうち他の部分について発明の実施をすることができない。

請求項 7, 8, 21を引用する請求項についても同様である。

・請求項 9に係る発明は、ミラーが 1 層の薄膜のみからなる発明を含んでいるが、請求項 8の構成の全てをミラー 1 層のみで実現する方法が不明である。

・請求項 19に記載の構成は意味不明である。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開昭 64-017015 号公報

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C 第 7 版 G 0 2 B 2 6 / 0 8

DB 名

・先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

(1) 明細書、特許請求の範囲を補正した場合は、補正により記載を変更した個所に下線を引くこと（特許法施行規則様式第 13 備考 6）。

(2) 補正は、この出願の出願当初の明細書、特許請求の範囲又は図面に記載した事項のほか、出願当初の明細書、特許請求の範囲又は図面に記載した事項から

自明な事項の範囲内で行わなければならない。補正の際には、意見書で、各補正事項について補正が適法なものである理由を、根拠となる出願当初の明細書等の記載箇所を明確に示したうえで主張されたい。（意見書の記載形式は、無効審判における訂正請求書の記載形式を参考にされたい。）

なおこの拒絶理由通知に不明な点がある場合、または、この案件について面接を希望する場合は、特許審査第1部光制御（光デバイス） 榎本英吾（かしもと えいご）（特許庁 内線3 2 9 5）までご連絡下さい。